

| | | | |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------------|
| 1. 科目名 (単位数) | 国際社会と日本 (2単位) | 3. 科目番号 | GELA1334 |
| 2. 授業担当教員 | 小野 智一 | | |
| 4. 授業形態 | 講義、グループディスカッション、グループプレゼンテーション | 5. 開講学期 | 秋期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 本科目履修にあたっては事前に以下に挙げる科目の事前・事後履修を推奨します。履修可能な範囲で意欲的に取り組んで下さい。 事前・事後履修を推奨する科目：「政治学」「経済学」「国際関係論」「世界史」「日本史」 | | |
| 7. 講義概要 | 「グローバル化」という言葉を頻繁に耳にするようになりましたが、それは一体何を意味するのでしょうか。この授業では、国際社会の状況に関する事例を使用教材(教科書、随筆記事、映像等)を適宜用いて紹介し、それを基にグループ討議を行い、「グローバル化」が世界の人々に及ぼしている影響を多角的に学び、理解を深めます。また、学期を通して、世界各地で起こっている出来事と日本との関わりについても考察を深めていきます。 | | |
| 8. 学習目標 | 1. 「グローバル化」がもたらしている影響について多角的な理解を深め、説明できる。 2. 「グローバル化」と日本の関わりについて多角的に考察し、自分の意見を言える。 3. 国際社会の一員として国際社会の今後の展望に関し自分の意見を言える。 | | |
| 9. アサインメント(宿題)及びレポート課題 | 授業の内容に関する1000～1200字程度のレポートを学期中に課す。 | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 【教科書】 眞順平著『岩波ジュニア新書 世界の国 1位と最下位』岩波書店、2010年。 【参考書】 1) 原康著『岩波ジュニア新書 国際関係がわかる本』岩波書店、1999年。 高橋和志ほか『岩波ジュニア新書 国際協力ってなんだろう』岩波書店、2010年。 2) 田中明彦・中西寛編『新・国際政治経済の基礎知識』。有斐閣ブックス、2004年。 国際政治、国際経済の分野の専門用語、トピック163項目を解説しています。「集団安全保障」「開発主義」といった本科目でも取り扱う概念について更に理解を深めたいときに有益です。 3) 東京福祉大学編『教職科目要説(中等教育編)』ミネルヴァ書房、2007年。 「新・社会福祉要説」東京福祉大学編 ミネルヴァ書房、2005年。 「保育児童福祉要説」東京福祉大学編 中央法規、2013年。 4) 羽場久美子・増田正人編『21世紀国際社会への招待』有斐閣ブックス、2003年。 | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | ○成績評価の規準 1. 「グローバル化」がもたらしている影響について多角的な理解を深め、説明できる。 2. 「グローバル化」と日本の関わりについて多角的に考察し、自分の意見を言える。 3. 国際社会の一員として国際社会の今後の展望に関し自分の意見を言える。 ○評定の方法 成績評価の規準1～3についての達成度を以下の方法により評価する。 ・各受講生の参加意欲・態度(課題の提出状況も含む)について総合的に評価する。(30%) ・各受講生の授業での発言・共同作業(ディスカッションなど)の実態等から総合的に評価する。(30%) ・各受講生の知識理解や思考の深まりについて、試験・レポートから評価する。(40%) | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | シラバスの授業内容に無いトピックで、学生側からの希望があれば、内容を確認し、受講者とともに審議したうえで授業内容として取り上げることも可能である。「国際社会と日本」について関心あるテーマがあれば授業時に提案すること。 また、異文化間コミュニケーションによって知見を拡張させるために、外部研究会主催のシンポジウムや学生主体で企画するシンポジウムに参加する機会も設定しますので、積極的にさまざまな考えと交流してください。 | | |
| 13. オフィスアワー | 講義前後の時間もしくはe-mailにて対応。toono@ed.tokyo-fukushi.ac.jp | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第1回 | オリエンテーション 国際社会と日本を学ぶための基礎知識(シラバス確認しますので準備してください。コピーなど可。) | 事前学習 | ※オリエンテーションのため次回より |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |
| 第2回 | 地勢と人口① 国土の面積および地政学の初歩 | 事前学習 | 前回授業で配布された資料を読み疑問点をチェックする。 |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |
| 第3回 | 地勢と人口② 人口および地政学の初歩 | 事前学習 | 前回授業で配布された資料を読み疑問点をチェックする。 |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |
| 第4回 | 経済と政治① GDPと世界経済の動向 | 事前学習 | 前回授業で配布された資料を読み疑問点をチェックする。 |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |
| 第5回 | 共通テーマを設定し追究する。SNSチャット機能などを活用し議論を深める。 過去のテーマ例：いじめは世界共通の問題？日本だけの問題？— | 事前学習 | 前回授業で配布された資料を読み疑問点をチェックする。 |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |
| 第6回 | 経済と政治② 税金から国家の経済活動規模について | 事前学習 | 前回授業で配布された資料を読み疑問点を |

| | | | |
|------|--------------------------------|------|-------------------------------------|
| | 考える | | チェックする。 |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |
| 第7回 | レポート①テーマ設定・資料収集・考察 | 事前学習 | 国際社会と日本をテーマとしてレポートで調べたいトピックを見つけておく。 |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |
| 第8回 | 経済と政治③ 軍力はなぜ必要なのかーリアリズムとリベラリズム | 事前学習 | 前回授業で配布された資料を読み疑問点をチェックする。 |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |
| 第9回 | 経済と政治④ 天然資源の生産と輸出から見える世界 | 事前学習 | 前回授業で配布された資料を読み疑問点をチェックする。 |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |
| 第10回 | 開発教育の考え方 世界をどのように学ばせたらよいか考える | 事前学習 | 収集した資料を基にわかったこと、疑問に思ったことを整理する。 |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |
| 第11回 | 社会① 貧困率の実態から世界を考える | 事前学習 | 前回授業で配布された資料を読み疑問点をチェックする。 |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |
| 第12回 | 社会② 食料自給率の実態から世界を考える | 事前学習 | 前回授業で配布された資料を読み疑問点をチェックする。 |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |
| 第13回 | 社会③ 進学率の実態から世界を考える | 事前学習 | 前回授業で配布された資料を読み疑問点をチェックする。 |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |
| 第14回 | レポート②発表 | 事前学習 | 完成したレポートを発表し意見交換を行う。 |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |
| 第15回 | これからの世界と日本 まとめ | 事前学習 | 前回授業で配布された資料を読み疑問点をチェックする。 |
| | | 事後学習 | 指示された課題について取り組む。 |